

日本学術会議 化学委員会 IUPAC 分科会 (第 24 期・第 1 回) 議事録

日時：平成 29 年 12 月 27 日 (水) 13:50~14:35

会場：日本学術会議 5 階 5-C(2) 会議室

出席者 9 名： 茶谷 直人、栗原 和枝、黒田 玲子、酒井 健、澤村 正也、竹内 孝江、
所 裕子、山内 薫、山本 陽介

欠席者 3 名： 澤本 光男、巽 和行、長谷川 美貴

委員長	酒井 健	(九州大学大学院理学研究院・教授)
副委員長	茶谷 直人	(大阪大学大学院工学研究科・教授)
幹事	竹内 孝江	(奈良女子大学大学院自然科学系・准教授)
幹事	所裕子	(筑波大学大学院数理物質科学研究科・准教授)

冒頭、本分科会委員 12 名のうち、半数以上の 9 名の出席が得られたので、分科会として成立することが確認された。

- (1) 互選により酒井委員が委員長に、茶谷委員が副委員長に選出された。また、竹内委員、所委員が幹事として選出された。
- (2) 山内前委員長より、本分科会の第 23 期の活動内容について説明がなされた。
- (3) IUPAC 分担金の新しい算出方法について、本分科会が日本学術会議と連携して対応していくことが確認された。
- (4) 第 49 回 IUPAC General Assembly (平成 29 年 7 月 7~13 日: Sao Paulo, Brazil) にて開催された Council Meeting に、山内委員、竹内委員、他 4 名が参加したことが報告された。また、Council Meeting における選挙にて、現 Bureau Member で Executive Committee Member である山内委員に代わり、次期 Bureau Member として酒井委員長が選出されたことが報告された。
- (5) 平成 29 年 2 月に、各ディビジョンの TM, AM, NR の候補を IUPAC 分科会より積極的に推薦した結果、2018-2019 の 2 年間は、各ディビジョンの多くに日本からの委員が着任されることになったことが報告された。
- (6) 平成 30 年 4 月 27 日に、奈良女子大学にて IUPAC Division V 主催の Off-year meeting が開催されることが報告された。竹内委員より日本学術会議幹事会の日程を事務局に確かめ、間に合えば後援申請書を作成し、酒井委員長より後援申請を提出してもらうこととした。
- (7) 2019 年 (平成 31 年) の UNESCO の国際周期表年に向けて、IUPAC および IUPAP と連携して準備を進めていくことを確認した。
- (8) 将来の IUPAC 活動を担う若手人材の育成を心掛けることを確認した。

以上